

2023年10月26日

産業別四半期見通し調査結果 (2023年10～12月期見通し)

■長野県産業天気図

◇2023年7～9月期の現況

- 全12業種中、「薄日(順調)」が3業種、「曇り(普通)」が8業種、「小雨(低調)」が1業種となった。

◇2023年10～12月期の見通し

- 「薄日(順調)」が3業種、「曇り(普通)」が8業種、「小雨(低調)」が1業種となった。方向感では、「やや上昇」が3業種、「横ばい」が8業種、「やや下降」が1業種となっている。

天気図記号	2023年 4～6月期現況	2023年 7～9月期現況	2023年 10～12月期見通し
 晴れ(好調)	0 業種	0 業種	0 業種
 薄日(順調)	0 業種	3 業種	3 業種
 曇り(普通)	10 業種	8 業種	8 業種
 小雨(低調)	2 業種	1 業種	1 業種
 雨(不調)	0 業種	0 業種	0 業種

■10～12月期見通しのポイント




































- 製造業、非製造業ともに天気図は変わらない見通し。


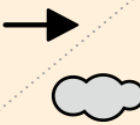
照会先
一般財団法人 長野経済研究所
調査部(担当: 桑井、伊東)
TEL: 026-224-0501







<産業別天気図一覧(12業種)>


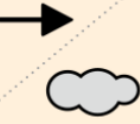
- 調査内容:業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間:2023年9月中旬～2023年10月上旬
- 調査回答企業:県内主要企業12業種の111社


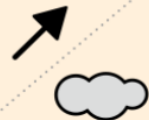
業種	前期 (23年4～6月期)	今期 (23年7～9月期)	来期 (23年10～12月期)
生産用機械	●現況 	●現況 	●見通し 
電子部品・デバイス	●現況 	●現況 	●見通し 
自動車部品	●現況 	●現況 	●見通し 
飲料製造	●現況 	●現況 	●見通し 
食料品製造	●現況 	●現況 	●見通し 
機械器具卸	●現況 	●現況 	●見通し 
大型小売	●現況 	●現況 	●見通し 
自動車販売	●現況 	●現況 	●見通し 
公共工事	●現況 	●現況 	●見通し 
民間工事	●現況 	●現況 	●見通し 
貨物	●現況 	●現況 	●見通し 
観光	●現況 	●現況 	●見通し 



生産用機械	IT関連の受注は低調ながら、自動車関連は底堅さを維持
<p>● 現況</p> 	<p>生産用機械の受注は、IT関連ではPCやスマートフォン向け半導体需要の低下から低調だったものの、自動車関連は完成車メーカーの生産増により底堅く推移した。また、生産用機械の納期は、部品不足が解消しほぼ正常化した。今後の受注は、半導体の在庫調整が続くIT関連は低調ながら、自動車関連は増加するとみられ、総じて堅調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 工作機械の受注は、国内では自動車・建設機械関連を中心に堅調な見込み。海外は、IT関連の低調が続くほか、欧米・中国の景気減速が見込まれ、減少する見通し。 • 半導体製造装置の受注は、自動車向けは順調に推移するとみられるものの、PCやスマートフォン向けは半導体の在庫調整が続くことから、全体では低調な見通し。


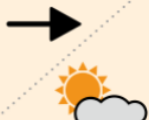
電子部品・デバイス	車載用の受注は順調な一方、産業用やIT関連は低調な見込み
<p>● 現況</p> 	<p>電子部品の受注は、海外経済の成長鈍化などから半導体製造装置向けなど産業用が低調だった。車載用は、半導体不足が緩和されてきたことに加え、電気自動車(EV)向けを中心に需要が強く、受注は堅調に推移した。IT関連は、PC・スマートフォン向け半導体の在庫調整が続き、受注が減少した。今後は、EV向けなどを中心に車載用は順調に推移するが、海外経済の減速などから産業用やIT関連は低調に推移する見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • IT関連は、完成品の需要が減少することで、部品受注は低調な見通し。 • 車載用は、半導体不足が緩和していくことから、受注は順調に推移する見込み。 • 産業用は、海外経済の減速などから半導体製造装置向けを中心に受注は減少する見通し。


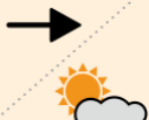
自動車部品	車載用の半導体不足が緩和し、受注は増加する見通し
<p>● 現況</p> 	<p>車載用の半導体不足が緩和し、完成車メーカーの生産が増えたことで受注は増加した。新車需要が強いことに加え、半導体不足をはじめとした部品不足の緩和が進むことから、今後も完成車メーカーの生産は増加し、受注も増加する見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 国内向けは、スポーツ用多目的車(SUV)を中心に新車需要が強いことに加え、半導体不足が緩和することで完成車メーカーの生産が増加し、受注は増加する見通し。 • 北米向けや東南アジア向けは、半導体不足が緩和していくことで、受注は増加する見通し。 • 中国向けは、経済の減速に加え、中国のEV市場が拡大する中、ガソリン車を主体とする日系完成車メーカーの販売が伸び悩んでいることから受注は低調な見通し。


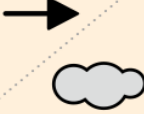
飲料製造	飲料需要は安定して推移する見通し
<p>● 現況</p> 	<p>夏場の猛暑に加えて、観光などで人出の増加がみられたことから、飲料需要は増加した。また、資材やエネルギーなど各種コストの高止まりはあるものの、販売価格の引き上げにより、収益が持ち直す動きがみられた。今後は、年末に向けて人の移動や外食需要が増加することが予想され、需要は安定して推移する見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 果汁・野菜ジュースなどの清涼飲料は、原料不足による販売価格の引き上げに加え、人出の増加もあり安定した売り上げが見込まれる。 • 清酒やワインなどのアルコール飲料は、コロナ禍で控えられていた年末の宴会需要も持ち直すとみられ、需要は底堅く推移する見通し。


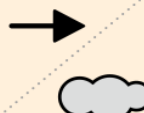
食料品製造	業務用を中心に需要は上向く見通し
<p>● 現況</p> 	<p>人出の増加により業務用が持ち直したことで、売り上げは堅調に推移した。また、原材料価格などの上昇分を販売価格に転嫁する動きもみられ、収益は改善した。今後は、堅調な観光需要や年末年始の人出の増加から、業務用を中心に需要は上向く見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味噌・加工肉・乾燥食品などは、即席味噌汁やシリアルなど調理が簡便で時短が図れる商品や、減塩や無添加など消費者の健康志向に配慮した商品を中心に、需要は底堅く推移する見通し。 ・そば粉・油揚げ・トマトソースなどは、外食需要の高まりから業務用の需要増加を見込む。 ・弁当・惣菜は、人出が回復していることから米飯を中心に需要は増加するとみられる。
<p>● 見通し</p> 	


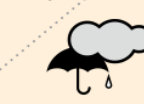
機械器具卸	機械需要は自動車関連を中心に堅調な見込み
<p>● 現況</p> 	<p>機械需要は、IT関連は半導体の在庫調整が続き低調だったものの、完成車メーカーの生産増により、自動車関連が堅調となり、総じて底堅かった。また、仕入価格上昇分を販売価格に転嫁することで売り上げも増加した。今後、機械需要は、IT関連は低調なもの自動車関連を中心に堅調が見込まれる。また、消耗品の需要も増加する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工作機械などの機械需要は、半導体製造装置向けは低調が続くものの、自動車向けでは堅調な見通し。制御機器や産業用ロボットなどのFA機器の需要は、省力化・自動化ニーズを背景に底堅い見込み。 ・切削用工具類などの消耗品受注は、主力の自動車関連の生産増により増加する見通し。
<p>● 見通し</p> 	


大型小売	食料品を中心に売り上げ増加が見込まれる
<p>● 現況</p> 	<p>食料品は、客数増加や販売価格上昇などで売り上げが増加した。衣料品は、気温の上昇に伴い夏物が堅調だった。今後も、客数増加と価格上昇などにより、売り上げは増加する見通し。光熱費などの高止まりは続くが、売り上げ増加に伴い収益面の厳しさは和らぐ見込み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百貨店は、衣料品は前年並みの売り上げが見込まれるほか、食料品もおせちの予約など年末商戦の出足が順調なことから、堅調な見通し。 ・スーパーは、新型コロナ5類移行後は客足が順調なことに加え、食料品を中心に価格転嫁が進み、売り上げは増加する見通し。また、光熱費などは高止まりが続いているものの、売り上げ増加に伴い収益面の厳しさは和らぐ見通し。
<p>● 見通し</p> 	

自動車販売	新車販売は順調に推移する見通し
<p>● 現況</p> 	<p>新車販売は、車載用半導体不足による納車遅れが緩和され、モデルチェンジした車種を中心に順調だった。今後も、買い替え需要が堅調に推移するとみられ、販売台数は前年を上回る見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新車販売は、納車遅れが緩和していくとともに、安全性能や燃費性能を備えた車種への買い替えが進むとみられ、順調に推移する見込み。 ・中古車販売は、買い替えに伴う下取り車の増加により流通量が安定し、車両不足で上昇していた価格も落ち着くとみられ、底堅く推移する見通し。 ・輸入車販売は、販売台数はやや弱含むが、高価格帯の車種の需要は堅調な見込み。
<p>● 見通し</p> 	

公共工事	防災・減災工事やインフラ補修工事などで安定した工事量を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>河川、道路の防災・減災工事や三遠南信自動車道に関連した大型工事により、堅調な工事量となった。今後も、国土強靱化計画に伴う土木工事を中心に、インフラの補修工事などが引き続き見込まれ、安定的な工事量となる見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国では、河川の護岸工事等を中心とした防災・減災工事の継続や三遠南信自動車道整備に伴う大規模な工事が発注され、堅調な工事量が見込まれる。 ● 県では、災害復旧工事や防災・減災を目的とした道路や林道の改良工事などにより底堅い工事量を見込む。 ● 市町村では、施設改修や道路整備などを中心に、安定した工事量となる見通し。
<p>● 見通し</p> 	

民間工事	民間企業の建設投資を中心に堅調な工事量となる見通し
<p>● 現況</p> 	<p>民間企業の建設投資は、製造業の工場新增設を中心に、安定した工事量となった。新築住宅は、資材価格高騰による建築コスト高止まりにより持家は低調だが、貸家や分譲の需要は底堅く、全体の工事量は例年並みであった。今後、建築コストの高止まりは続くと思われるが、製造業の工場建設を中心に堅調な工事量を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 民間企業の建設投資は、設備投資への積極姿勢が引き続きみられ、製造業の工場新增設の動きを中心に、安定した工事量が見込まれる。 ● 住宅関連は、分譲マンションや比較的安価な建売住宅の需要は底堅いが、建築コスト高止まりにより注文住宅の受注は減少傾向にあり、着工戸数は伸び悩む見通し。
<p>● 見通し</p> 	

貨物	工業製品を中心に需要は弱含み、全体の荷動きは低調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>食品・雑貨類は安定した出荷量となったが、工業製品が海外需要の鈍化に伴い輸出品の荷動きが落ち込み、全体の荷動きは低調だった。今後も、機械類や電子部品等を中心に需要は弱含み、全体の荷動きは低調に推移する見通し。貨物各社では残業上限規制(2024年問題)への対応に伴う荷主との運賃引き上げ交渉を進めるが、各種コストの増加分を補う貨物量の確保や価格転嫁は難しく、厳しい収益環境が続く見込み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工業製品は、生産用機械や電子部品を中心に中国向けなどの輸出が落ち込むとみられ、貨物量は低調な見通し。 ● 食品や雑貨類は、製品値上げの影響はあるものの、需要は堅調で底堅い貨物量を見込む。
<p>● 見通し</p> 	

観光	旅客・宿泊とも観光需要増加を見込むが、人手不足による影響を懸念
<p>● 現況</p> 	<p>夏季行楽シーズンにより、国内外からの観光需要は堅調だった。また、燃料費や電気料金など各種コストは増加したものの、販売価格への転嫁により収益を確保した。今後は、秋の行楽やウインタースポーツによる観光需要に加え、年末に向けて忘年会等の宴会需要の増加が見込まれる。ただ、人手不足による需要の取りこぼしが懸念され、収益は伸び悩むことも予想される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 旅客は、観光客の増加や帰省による利用が期待され、利用客数の増加を見込む。 ● 宿泊施設は、国内外からの観光客を中心に堅調な利用が見込まれるほか、年末の忘年会など企業・団体による宴会需要が増加する見通し。
<p>● 見通し</p> 